

EPA メール本文：サーバー基準 V2.0
SERT の試用について（2012年7月12日）

====EPA メール概要和訳=====

ENERGY STAR サーバーパートナーおよび他の関係者各位：

- EPA は、コンピュータサーバー基準バージョン 2.0 における測定と報告に必要とされる、SPEC サーバー効率評価ツール（SERT：SPEC Server Efficiency Rating Tool）の Beta-2 の試用者を求めている。
- SERT Beta-1 からの改善点には、整合性のある結果を提供する精緻化された作業負荷、ハードウェア・ソフトウェアの識別改善、試験実行と結果報告を簡略化するグラフィカルユーザーインターフェースの強化が含まれる。
- SERT Beta-2 は、SPEC 対応電力測定器と温度センサーを所有し、Beta 使用ライセンスに署名し、結果の報告を約束する場合には、誰でも使用することができる。
- SPECpower_ssj2008 の継続的な策定作業において得られた多くの経験から、SERT は比較ベンチマークではなく、消費電力／性能の複合評価を提供しないが、その代わりに CPU、メモリ、および記憶装置 I/O 構成のサーバー消費電力効率に対する影響について詳細な情報をもたらしてくれる。
- SERT を広く利用することは、試験実施者の負担を軽減し、世界の異なる市場において販売される製品について有意義かつ整合性のある比較を可能にする。
- ENERGY STAR コンピュータサーバー基準 v2.0 は、2012 年秋に策定が完了し、2013 年中期に発効する予定である。
- ENERGY STAR ラベルを取得するため、サーバーは、SERT による測定結果の提出を含めた適合基準を満たさなければならない。
- SERT Beta-2 に関する情報および使用ライセンスの署名については、www.spec.org/sert/を参照すること。
- 質問がある場合には、EPA の Robert Meyers (Meyers.Robert@epa.gov または 202-343-9923)、または ICF International の John Clinger (John.Clinger@icfi.com または 202-572-9432) まで。

=====